

## 2019年度総会報告

東大和障害福祉ネットワークの第14回総会&映画「夜明け前」上映会が、6月11日（火）1時半より、中央公民館ホールにて行われました。

第一部では、上映会「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年」を行い、151名の参加でした。「精神障害者施策の現実がよく分かりました」「私宅監置という言葉は知らなかった」「精神医療に興味があったので、とてもよかったです」「小さい頃いなかで、小屋で生活している人を見たことがある」等、多くの感想が寄せられました。

社会的入院など精神障害者の多くの問題があります。数年前の寝屋川市の監禁事件など記憶に新しいところです。そんな中、多くの市民に見てもらおう事が出来ました。

第二部の総会では、引き続き100名程残って頂きました。2018年度の活動報告、決算、監査報告、2019年度の活動計画案、予算案と続き、それぞれ承認して頂くことが出来ました。役員紹介では、食工房ぱるの青木博子さんが退任され、新たに自立生活センター東大和の唐津紗綾子さんが加わってくださることになりました。構成団体では、「喜良」さんが加わり26団体になりました。



# 2019年度に向けて



皆様こんにちは。

平素は東大和障害福祉ネットワークの活動に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。ここに謝意を表します。

さて、令和元年度に向けた当ネットワークの取り組みですが、これに関しては6月11日（火）のネットワーク総会において「状況認識と基本的考え」、「今年度の取り組みの基本姿勢」、「ネットワークの活性化」について詳述しましたので、総会資料を参照いただければと思います。

ここでは私が行動するうえで心がけていることをエッセイとして書きましたので、それを紹介させていただきます。最後までお読みいただければ幸いです。

## 【エッセイ】

『置かれた場所で 咲きなさい』 ～私の3つのモットーに従って～ 水谷 雅弘

モットー (Motto)。それは、『基本となる考え方などを簡潔に表した言葉』です。

♪♪ ウイスキーがお好きでしょ もう少ししゃべりましょ ♪♪

ご存知、サントリーのウイスキーのCMソングです。サントリーは今や名だたるグローバル企業ですが、その企業基盤は創業者の鳥井信治郎氏と二代目の佐治敬三氏によって築かれたものです。そしてその社風は、

鳥井信治郎氏 『やってみなはれ、やらなわからしまへんで』

佐治敬三氏 『やってみなはれ、試してみなはれ』

という言葉に代表されるように、チャレンジ精神に満ち溢れています。

そう、これが私の一番目のモットーです。しかし、私が「やってみよう、試してみよう」というと、周りの人から「ダメ、もっとちゃんと検討しなくっちゃ」とたしなめられます。

.....

すると、私の頭の中に次の曲が流れてきて、私を後押しします。

♪♪ Que sera, sera Whatever will be, will be ♪♪

ドリス・デいのスタンダードナンバー『Que Sera, Sera (ケセラセラ)』です。日本語でいえば「なるようになる」ですが、これが私の二番目のモットーです。

当然のことながら、私が「なるようになるさ」というと、周りの人々はさらに声を荒げて「なんていいかげんな人なの」と私を叱責します。

.....

こうなると、次の言葉とメロディーが繰り返し囁くように聞こえ、私の頭の中はその言葉で一杯になります。

♪♪ これでいいのだ これでいいのだ ♪♪

赤塚不二夫先生の「天才バカボン」のパパの口ぐせ、これが私の三番目のモットーです。

周りの人々はただただ呆れた顔をして、もう何もいわなくなります。でも私は、反省はしますが後悔はしたくありません。コーネル大学の研究によれば『後悔の75%は、“やらなかったこと”に対する自責の念である』としています。ですから私は「やってみよう」を優先します。そして、たとえ結果が不本意であったとしても、私は「これでいいのだ」とそれを受け入れます。が、しかし、これは諦めではありません。そう、私には諦めずに何度でもやり直す覚悟があります。

以上、♪♪ ありふれた 話でしょ それで いいの 今は ♪♪ です。

私の3つのモットー、「やってみなはれ、試してみなはれ」、「ケセラセラ なるようになる」、「これでいいのだ」は、私の行動の原点でもあります。しかし、これだけではどこで行動すればよいのか定まりません。なぜなら、人はそれぞれ異なる環境で、場所で、生き活動しているからです。

『置かれた場所で 咲きなさい』という言葉があります。

これはノートルダム清心学園の渡辺和子氏の著書のタイトルですが、宣教師の言葉“Bloom where God has planted you. (神が植えたところで咲きなさい)”に由来しています。また心理学でも「(心理的)居場所は役割を育む」とする考え方があります。どちらも意味するところはほぼ同じと理解しています。

私は視覚障害者です。視覚障害ということが私の置かれた場所であるならば、私はそこで咲いてみたい。いや、もう少し範囲を広げ、障害者全体という居場所で咲けたらいいな、と思います。障害者とその関係者のために何ができるかを考え、智慧をだし、実践して、自分らしく咲く。きれいに咲けなくてもいい、大きく咲けなくてもいい。でも、できることなら、周囲の人々が「心うれしく、心豊かに、心安らかに」なれるように咲きたい、微笑んで、喜んでいただけるように咲きたい、そして人から愛されるように咲きたい、と願っています。私の3つのモットーに従って。

「人はどんな場所でも幸せを見つけることができるのだから・・・」

著者からのお願い： これを朗読、音読する際は、歌詞の部分は歌ってくださるようお願いいたします。

東大和障害福祉ネットワーク 代表 水谷 雅弘

## お知らせ

『(新)高額障害福祉サービス等給付費』制度について

65歳になる前に一定期間にわたって障害福祉サービスを利用していた方が介護保険へ移行した場合、介護保険サービスにかかる利用者負担額が支給されます。

### ※ 対象者

65歳になるまでに5年以上所定の障害福祉サービスを利用していること  
(居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所)

市町村民税非課税者又は生活保護受給者等

65歳に達する日の前日の障害支援区分(障害程度区分)が区分2以上

65歳に達するまでに介護保険法による保険給付を受けていないこと

### ※ 対象となる介護保険サービス

訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護  
(介護予防サービス、地域密着型介護予防サービスは含まれません)

※ 平成30年4月1日以降の利用者負担を償還

※ 申請が必要

※ 問い合わせ先： 東大和市役所障害福祉課庶務係



## 市内のトイレ事情調べてみました！

2017年の「スタート」に、これからの取り組みとして、生活するのにとても大事なトイレの調査を行うと載せました。

洋式が少ない、トイレがとても狭い、昔ながらの使いにくい障害者用トイレなど、いろいろ不便だという声が聞こえていたので、東大和市内の公共施設を中心にトイレの調査を行いました。

どんな所をチェックしたらよいかを議論し、誰でも使用する公共施設や駅などを、それぞれ担当を決めて調べました。チェック項目は、標準設備(車イス対応・オストメイト対応・ベビーシート又は大型多目的シート)、全体計画及び多機能トイレにおける配慮事項です。

調査をした結果、標準設備が3つとも整っている市の公共施設は1ヶ所のみで、2つ整っているところは6ヶ所でした。

利用しにくい場所は、段差があり靴を脱がないと入ることができない、広さがないため車イスが入ることもできず、介助者も入れない。

古い施設は、和式が多い。施設によってはトイレの場所や電気のスイッチが分かりづらい所もあった。

音声ガイドが設置されている所はひとつも無かった。(武蔵大和駅・都立南公園にはある。)

桜が丘地区など、設備が整っている地区に偏りがある。

ベビーシートは設置している所はあるが、大型多目的シートは無かった。

男性用トイレにベビーシートが設置されている所もあり、良かった。

《市の公共施設で設備が整っている施設》

【市役所1階(車イス・オストメイト対応、ベビーシート)】



中央公民館・中央図書館・保健センター・子ども家庭支援センター「かるがも」・狭山公民館・清原市民センター（車イス対応、ベビーシート）

【保健センター】



※ 使うときは職員に声を掛けて自動ドアの電源をONにしてもらう必要あり

《3つの設備が整っている市以外の施設》

総合福祉センターは〜とふる・都立東大和療育センター・都立東大和南公園  
東大和病院・武蔵大和駅・上北台駅・桜街道駅

◆調査した施設◆

市役所	奈良橋市民センター	都立東大和南公園
中央公民館・ホール	向原市民センター	ハミングホール
中央図書館	清原市民センター	東大和病院
会議棟（市役所隣接）	桜が丘市民センター	東大和市駅
保健センター	新堀地区会館	玉川上水駅
子ども家庭支援センター「かるがも」	市民体育館	武蔵大和駅
南街公民館	上仲原公園	上北台駅
上北台公民館	あけぼの学園	桜街道駅
狭山公民館	総合福祉センターは〜とふる	
蔵敷公民館	都立東大和市療育センター	

障害のある人が使いやすいトイレは、お年寄りやけがをした人、妊婦さん・・・みんなが使いやすいトイレだと思います。「予算がない」とかではなく、「何年後には改修する」などと具体的な姿勢を望みます。

調査後に設備を整えた場所がある場合は申し訳ありません。

尾崎・吉田

## 上映会「やさしくなあに」の報告

2019年9月7日(土)映画「やさしくなあに」の上映会を行いました。この映画は、知的障害の女の子、奈緒ちゃんを子供の時から大人になりグループホームで暮らすようになるまでの35年間を取り続けたドキュメンタリー映画です。

この映画の前評判を聞き、ぜひネットワークでも上映したいと話がまとまったのですが、当初バリアフリー版（音声ガイドと日本語字幕付き）が無く、それを作っていただくことから、配給会社であるイセフィルムさん、伊勢真一監督とのやり取りが始まりました。事務局の方と伊勢監督には上映に向けて、快くご尽力くださったことにこの場を借りてお礼申し上げます。

おかげ上映会当日は177名の方に足を運んでいただき、視覚障がい者の方、聴覚障がい者の方にも楽しんでいただけたのではないのでしょうか？

奈緒ちゃんがGHに入り、自立した奈緒ちゃんの実家は、お父さん、お母さん2人だけの生活が始まります。子供たちがいなくなり夫婦関係にも微妙な空気が流れます。そんな時奈緒ちゃんが「やさしくなあにって言わなくちゃ」と語りかけるのです。その奈緒ちゃんの言葉に、私たちも奈緒ちゃんのようにぎすぎすすることなく人に接しているか・・・そんな事を気づかされました。

また、当日は伊勢監督が急遽来てくださり、上映後に舞台挨拶をしてくださいました。

これからもネットワークでは、身近なところで多くの人に楽しんでもらえる企画をしていきたいと思えます。





## 新構成団体「喜良」の紹介・新役員唐津さんの紹介



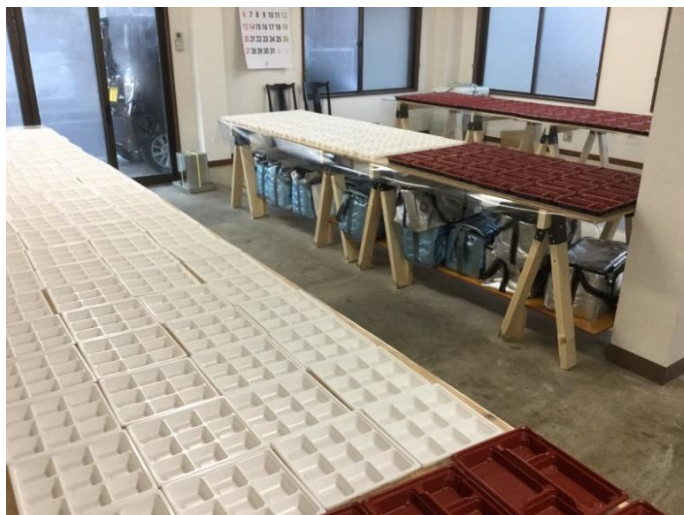
2019年4月1日に、就労継続支援B型事業所として開所いたしました「喜良」と申します。<sup>きりょう</sup>法人形態は合同会社という形を取っています。既存のお弁当事業を行っていた法人から、新たに作業所としてお弁当事業を行う別法人（合同会社）を立ち上げました。

当初は就労継続支援A型事業所の開所を考えていましたが、東京都への指定申請を行う中で、多くのアドバイスをいただき東京都の勧めもあり、高工賃型のB型事業所として指定していただきました。また、合同会社という、新しく自由な法人形態を活かし、開かれた自由度も高く、風通しの良い作業所を目指しています。

見学等、随時承っておりますので皆さまお気軽にお声掛けいただければと思います。

働く事の「喜」を知り、共に成長し、より「良」い人生を歩む機会を創り続ける場所となる事。それが「喜良」の目指す存在意義です。

職員一同、利用者さんと共に頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します



今年度、ネットワークの役員に加わらせていただいた唐津紗綾子です。

2年前の春に、正式に無職デビュー、夏に東大和市民にデビュー、秋から、週に3時間だけ仕事をする生活を始めました。

それから、少しずつ家の外に出かける回数や範囲を増やしていき、去年の秋深まる頃からは、週に3回、仕事その他で外出できるペースで、なんとか生きています。

生来のエネルギー不足のため、

世の中の暦や時間に追いついて動けるのはごく一部分ですが、一“所”懸命に務めさせていただきたいと思っております

## 障害福祉サービスが危ない！

### 2021 年度の基本報酬改定の動き？！

2018 年度の基本報酬改定で、基本報酬（公的な基本給付）に格差が持ち込まれ、就労継続支援 B 型や放課後デイサービス等、多くの事業所がその影響を受けました。

就労継続支援 B 型では、前年度の月額平均支給工賃を 7 つのランクに分け、ランクにより事業所の基本報酬に差をつけられ、これによって全国の多くの B 型事業所が大幅な減収になっています。

放課後デイサービスでは、利用している子供の障害の状態を基礎にした 2 段階の区分を新たに設け、子供の障害の状態を点数化し、合計が 13 点以上の子供を「該当児」、満たない子供を「非該当児」としたうえで、「該当児」が利用児の半数を超えた事業所（区分 1）とそうでない事業所（区分 2）との間で報酬に差をつけました。これにより、全国 8 割の事業所が減収となり、「職員一人分の給与を減らした」事業所がその半数に上っています。

このような中、さらに今、厚労省では、2021 年度の基本報酬改定の検討準備が進められています。この改定に向けて、厚労省は昨年度、46 種類の調査を行い、今年度はそれをもとに報酬改定検討チームによる検討を始め、2020 年度に国会で審議・成立する 2021 年度予算に反映させる計画です。

この報酬改定では、食事提供加算・送迎加算の廃止、グループホームでのホームヘルプ利用の廃止、生活介護の見直し・抑制などが懸念されています。これらのどのサービスも利用者にとってなくてはならない重要なもので、その加算等が廃止されると、事業所の運営はさらに厳しくなり、また利用者の新たな負担も心配されます。

消費税が 10% になり、その増税分は、福祉サービスの充実こそ使われるべきだと思いますが、さらに福祉予算を削減する方向とはいかがなものでしょうか？

2017 年 11 月の厚労省が突然打ち出した、「食事提供加算の廃止」は、いち早い全国的な運動で反対の声を厚労省に届け、「継続」とさせることができました。

今回の報酬改定も、くい止めるためには、私たちが、国の動きを知って情報を共有し、さらなる運動につなげていくことが必要だと思います。





## 地域生活支援拠点事業について



2020 年度から始まる新しい事業！

目的は、障害のある人の重度化、高齢化の実情や、「親亡き後」を見すえて、「それでも東大和で地域生活を続けられるために！」を掲げ、5つの必須事業を地域で整備していきましょうというものです。

### 【5つの必須事業】

#### 1、相談支援

今は家族など特定の人のみが介助する生活で間に合っていて、公的サービスが必要ない状態でも、その主たる介助者が倒れてしまうなど、何か急に生活状況が変わるようなアクシデントがあった際、急には短期入所も使えないし、施設に入れるわけでもなく、生活がままならなくなってしまいます。そういう方達を事前に把握・登録し、緊急時の連絡体制やサービスのコーディネートを行うための相談体制を整えます。

対象者の検討は、市内の計画相談事業所が中心になって担い、コーディネーターは、市の委託相談事業所である「は〜とふる」と「ウェルカム」に加え、市の障害福祉課にも専属コーディネーターが配属予定です。

#### 2、体験の機会・場

「親亡き後」を見すえた時、都外施設への入所ではなく、地域生活の継続として、グループホームや、一人暮らしの選択肢を知ってもらい、早めに考えていけるよう、それらの体験ができる仕組みを整えていきます。

グループホーム体験としては「は〜とふる」の「自立訓練」の活用、一人暮らし体験は、将来的に、アパートなどの一室を市で確保し、ヘルパーなどを活用しながら体験できるよう整備していけると考えています。

#### 3、緊急時の受け入れ・対応

近隣の短期入所への受け入れや、医療機関への連絡調整体制の整備に加え、支給決定を待たずに緊急対応としてのヘルパー派遣や、普段通所している作業所への緊急受け入れ、その際の職員稼働への保障など、柔軟で臨機応変な対応の仕組みを考えていきます。

#### 4、専門的人材の確保・養成

国の趣旨としては、医療的ケアや行動障害への対応ができる人材育成、とありますが、そもそも「介助者」自体が圧倒的に不足している現状を踏まえ、まずは、グループホーム、重度訪問介護、移動支援などニーズの高いサービスへの従事者を増やすという、はじめの一步から取り組みます。2019年度に、移動支援従事者養成として、11月と2月に研修を開催します。

#### 5、地域の体制作り

地域で包括的な支援体制を作るには、障害福祉の分野だけでがんばっていても限界があります。高齢者分野の包括支援センター、自治会、民生委員、生活困窮者支援の「そえる」など、幅広い横の連携体制を整えていきます。

以上、必須5事業の概要ですが、最初からすべての体制を完璧に整えることはできません。できることを、できるところから、絵に描いた餅にならないよう、ゆっくりでもいいので着実に進めていくために、自立支援協議会の中にプロジェクトチームを立ち上げ、検討体制を作っています。また、やってみて「やっぱり使いにくい」「これじゃ機能しない」など、改善点もいっぱい見えてくると思います。それらを柔軟に改正していくことによってこそ、「地域拠点」となりうると思います。正しく成長し続けられる仕組みとなるよう、皆様の関心を、ぜひお集めください。

# 障害福祉係の

# お仕事&職員 を紹介します

障害福祉課障害福祉係では、身体障害児・者及び知的障害児・者の「ケースワーク業務」のほか、さまざまな業務を行っています。

ケースワークとは、障害のある方お一人おひとりに対して、個別の相談や支援を行うことです。6人（1人育児中）の担当で、市内の地区ごとに担当をしています。この6人と臨時職員を束ねているのが障害福祉係長です。

ケースワーク以外の業務は多岐にわたります。最も比重が大きいのが障害支援区分の認定調査とサービス支給決定。その他、自立支援協議会の運営、総合福祉センターに関する業務、障害者差別解消法への対応、障害者虐待防止センター、補装具・日常生活用具、ガソリン・タクシー助成、マル障、手話通訳者派遣などなど。新しい業務もどんどん加わり、やることはたくさんですが、係一丸となって業務に励んでおります。

## 障害福祉係

順不同。

名前の前の◆=男性、●=女性



	仕事・担当	名前	ひとことなど
◆	係長	梅木	よさげな飲み屋さんあったら教えてください。
●	ケースワーカー	古川	まだまだ勉強中です。引き続きよろしくお願いします。
◆	ケースワーカー	三浦	何か困ったことがあればご相談いただければと思います。
◆	ケースワーカー	三田	皆様のお役にたてるように頑張っていきたいと思います。
◆	ケースワーカー	中谷	皆さまに快適な地域生活を送っていただけるよう、日々頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。
◆	ケースワーカー	笠原	毎日毎日が勉強です。みさなんに笑顔になってもらえるように業務を行っていききたいです。
●	ケースワーカー	大竹	現在育児休業中
●	事務臨時職員	西	補装具費、日生具のことならおまかせ！
●	事務臨時職員	浅見	市民ファーストの精神で頑張りますのでよろしくお願いします。
◆	障害福祉課長	小川	障害福祉係は、以上のメンバーで日々、奮闘しています。頼りになる面々ですので、困ったことがあってもなくても

お気軽にご相談ください

自立支援協議会  
の活動から

全体会公開研修会

# 東大和 だれでも縁日



令和元年 8 月 18 日（日曜日）に自立支援協議会全体会公開研修会として、「東大和だれでも縁日」を開催しました。

自立支援協議会委員の研修会は、地域で障害のある方が自立して暮らしていくときの課題を明らかにしたり、障害や障害のある方について市民の方に知っていただくことを目的に開催しています。今回は、昨年の「ゲームで学ぶ！障害のある方の介助」を一步進めて、支援する側、支援される側という立場を越えて、障害についての理解を深める場をつくろうとの考えから「だれでも縁日」を企画しました。

縁日の出店をちょっと工夫して、楽しみながら障害について理解してもらおうと、手や足が不自由なヨーヨー釣り、手話を覚えられるくだものカード釣り、知的障害のある方と一緒に楽しむボウリング、精神障害に気分を味わう幻聴妄想カルタ、アイマスク体験付きの駄菓子屋さんがお店を並べました。縁日らしく盆踊り、市内作業所による飲み物・食べ物等の販売もあり、会場は大盛り上がり。夏の真っ盛りのたいへん暑い日でしたが、小さなお子さんからお年寄りまで、障害のある方もない方も、スタッフを含めて 350 人余りの方が集い、交流することができました。



（事務局）

## 11月から「いんくる」インクルーシブ事業者推進事業（試行）が始まります！

地域自立支援協議会生活部会では、平成 30 年度の活動として、障害者差別解消法の民間事業者向け啓発冊子「あなたにもできる！～障害のある人たちと共に生活できる街づくり」を作成し、たいへん好評を博しています。

今年度の活動として、啓発冊子を活用して「いんくる（インクルーシブ事業者推進事業）」に取り組むこととしました。市内の事業者に呼びかけて、差別解消法に基づいた合理的配慮の提供に率先して取り組んでいただき、障害のある方に積極的に利用して、どんどんまちに出ていただくというものです。

現在、手をあげていただいた 15 か所程度の「取組み事業所」を生活部会の委員が訪ねて、それぞれの事業所ではどのような配慮ができるのかを相談させていただいています。11 月から 1 月までを試行期間として、2 月頃には、その成果や課題を検証する公開研修会を開催する予定です。みなさま、この機会に、市内の事業所（お店）を利用して「いんくる」にご協力ください。



- 取組み事業所や配慮の内容は、11 月 1 日号市報や市公式ホームページ等でお知らせします。お楽しみに！ 問合せ 障害福祉課 042-563-2111 内線 1123



## 2019年度 役員紹介

役職	氏名	所属
代表	水谷 雅弘	東大和市視覚障害者福祉協会
副代表	田淵 規子	NPO 法人 自立生活センター・東大和
	平松 美佐子	東大和市手をつなぐ親の会
	森田 由美子	社会福祉法人みんなの会 第二みんなの家
書記	尾又 昇司	NPO 法人 ゆうらんせん
	吉田 敏子	東大和市知的障害者相談員
	本田 未奈	村山特別支援学校保護者
会計	脇田 正子	個人
世話人	佐藤 英樹	NPO 法人 自立生活センター・東大和
	尾崎 美佐子	フレンズ モエ
	伊藤 和登志	障害福祉サービス事業所 (PACE)
	唐津 紗綾子	NPO 法人 自立生活センター・東大和
相談役	海老原 宏美	NPO 法人 自立生活センター・東大和
監査	小林 景子	個人

## 構成団体

1	NPO 法人アダージョ ライブリイ工房
2	NPO 法人おれんじはあと 精神障害者グループホームなんがいの
3	NPO 法人 グループゆう
4	NPO 法人 食工房 ぱる
5	NPO 法人 自立生活センター・東大和
6	NPO 法人生活支援センター207 あとリエトントン
7	NPO 法人生活支援センター207 第2あとリエトントン
8	NPO 法人 東大和けやきの会 PACE
9	NPO 法人 ゆうらんせん
10	NPO 法人リング グランデ
11	社会福祉法人えいぶる かたつむりの会作業所
12	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 グループホーム フレンズ・モエ
13	社会福祉法人 この指とまれ
14	社会福祉法人みんなの会 第一みんなの家
15	社会福祉法人みんなの会 第二みんなの家
16	社会福祉法人みんなの会 第三みんなの家
17	合同会社 ソエル
18	合同会社 喜良 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">NEW</span>
19	一般社団法人 かざまぐみ 放課後等デイサービスあかぐみ東大和
20	株式会社エルヴィエント 就労支援事業所 NOAH
21	東大和市視覚障害者ひとみサークル
22	東大和市視覚障害者福祉協会
23	東大和市手話通訳者の会
24	東大和市聴覚障害者協会
25	東大和市手をつなぐ親の会
26	手・指の会

構成団体、個人ともに募集しています。